

【訂正】 2019年7月4日 株式会社SUBARU 広報部
リリース内容を一部修正しました。

2019年6月24日

SUBARU WRX STI がニュルブルクリンク 24 時間レースで 2 年連続、6 度目のクラス優勝

SUBARUのモータースポーツ統括会社であるスバルテクニカインターナショナル(STI)*¹は、第47回ニュルブルクリンク 24 時間レース(ドイツ、2019年6月20日～23日)に市販車ベースのレースカー「SUBARU WRX STI NBR CHALLENGE 2019」で出場し、SP3T クラス*²で優勝を果たしました。

「SUBARU WRX STI NBR CHALLENGE 2019」(ドライバー:カルロ・ヴァン・ダム/ティム・シュリック/山内英輝/井口卓人)は、SP3T クラスのポールポジションからスタート。きわめて過酷なコースを走行する中で、序盤からノートラブルでリードを築き、スバルディーラーメカニック8人を含む整備チームの迅速かつ的確な対応によって完璧なレースを展開。明け方にベストラップタイムを更新するなどドライバー陣も奮闘しました。その結果、SUBARU/STI チームは、2008年の初出場以来最多周回数の145周を走破し、総合順位19位、2011年の初優勝以来6度目、昨年に引き続き2年連続となるSP3T クラス優勝を果たしました。

「究極の一般公道」「緑の地獄」とも言われるニュルブルクリンク・サーキット(1周約25km)における24時間レースでのクラス優勝により、SUBARU車は水平対向エンジン、シンメトリカル AWD をはじめとして、その信頼性や耐久性、高次元のパフォーマンスをあらためて実証することができました。

SUBARUと STI は、モータースポーツにおいても確かなモノづくりによる「安心と楽しさ」を実現し、今後も世界中のお客様の信頼と期待に応えていきます。

<車 両> SUBARU WRX STI NBR CHALLENGE 2019

<総 監 督> 辰己英治

<ドライバー> カルロ・ヴァン・ダム(オランダ)、ティム・シュリック(ドイツ)、山内英輝、井口卓人

レース詳細については、下記オフィシャル WEB サイトをご覧ください。

【スバルモータースポーツマガジン】<https://www.subaru-msm.com/2019/nbr/>

【スバルオフィシャルサイト NBR CHALLENGE 2019 特設ページ】<https://www.subaru.jp/nbr24h/>

*1:スバルテクニカインターナショナル(株)(代表:平岡泰雄、東京都三鷹市、略称:STI)

*2:排気量 2 リットル以下のターボ車のクラス



SUBARU WRX STI NBR CHALLENGE 2019